

先輩応援者からのワンポイントアドバイス

〈心構え・姿勢、準備〉

〈物 品〉

- ・ペン、メモ帳は自分で用意しましょう
- ・パソコン、プリンタ、ルータやWi-Fiなどネット接続のツールは、業務で必要か確認し、応援先で準備してもらえるか相談しましょう
- ・引継ぎや情報共有のためのノート、ファイル用クリアポケットは、必要性をグループで相談しましょう
- ・応援地域の地図、付箋などの文具は、応援先で準備されていることが多いです
- ・年齢早見表や付箋等の調査用品、除菌シートや手指消毒剤等の消毒用品は“あれば安心”です。
- ・執務環境は様々で、私物用ロッカーがないこともあります。



〈心がけたこと〉

- 「自らの身の安全は自ら守る」：流行地での業務にあたり、自らが感染するリスク、自らが感染源となるリスクに関して応援前から終了後数週間、健康管理・健康観察を続けていました。
- ・主体的に応援業務に臨み、必要な情報や物品については尋ねてみましょう。
 - ・パートナーシップを構築する姿勢で応援しましょう
 - ・家族や所属先の理解や協力を得ておきましょう。
 - ・応援に入って感じたこと、考えたこと等、共有する人や時間があると自らのストレス管理にもつながります。



〈情 報〉

- ・自ら情報収集して臨む人が多いのは、感染の成立、拡大防止の基本等の〈感染症対策の基本知識〉〈新型コロナウイルスの基礎知識（感染経路、拡大要因等）〉〈新型コロナウイルスの〈適切な消毒方法〉〉についてです。
- ・応援先で情報提供されることが多いのは〈積極的疫学調査の内容〉〈陽性者への保健指導内容〉〈濃厚接触者への対応内容〉〈応援地域の感染状況〉〈応援地域で発生しているクラスターの情報〉等です。
- ・住民の特性、繁華街の場所等の〈地域情報〉についても理解を深めると、より深い対象理解、より実効性の高い保健指導につながります。
- ・COVID-19のような“未知なる感染症”の場合、疾患に関する知見や、対策に関する体制が更新されることが多いので、応援中も最新の情報をキャッチするよう心がけましょう。



応援に入る準備のためにお勧めのサイト

春山早苗. 新型コロナウイルス感染症対策における応援派遣及び受援のための手引き

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000671711.pdf>

P.12「応援派遣者の準備」「応援派遣者の健康管理」 P.15～16「応援派遣者の留意点」

このリーフレットは、令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）「新型コロナウイルス感染症等に対する健康危機管理対応の人材育成のための研究（課題番号：20CA2084）」の分担研究の成果物として作成しました。